

会 議 記 録

作成部局課名 丸子地域自治センター 地域振興課

開催日	平成 20 年 9 月 12 日(金曜日)	開催時刻	13 時 30 分から 15 時 10 分
会議名	丸子地域協議会(平成 20 年度第 6 回)		
出席委員	浅倉委員、生田委員、片桐委員、倉沢委員、甲田委員、笹井委員、笹沢委員、滝沢(俊)委員、武井委員、竹花委員、土屋委員、成澤(啓)委員、本間委員、宮坂委員、柳原委員 【欠席】木下委員、櫻井委員、滝沢(真)委員、成澤(み)委員、村松委員		
市側出席者	・三好丸子地域自治センター長、佐藤センター次長兼地域振興課長、沢山課長補佐兼地域政策担当係長、中村地域政策担当、澤山地域政策担当 ・都市建設部・高橋地域交通政策課長、佐藤丸子建設課長、堀内管理担当係長		

会議次第

- 1 開会(佐藤センター次長)
- 2 会長あいさつ(片桐会長)

前回第 5 回のグループ討議の中で「最初から依田川リバーフロント市民協働事業ありきの感があった…従って他の計画案が提案できないか。」という意見が出されていますが、決してそういうことではありません。それぞれグループ討議の中でやりたいという事業を出していただき全体で協議し、市・行政側へ積極的に提言してまいりたいと思っています。分権型時代の到来により、市民主導によるまちづくりのルールを検討する自治基本条例検討委員会が設置されました。協議会の中でも、土屋委員、生田委員が検討委員になっておられます。私は地域協議会の機能が十分発揮できていれば、急いで自治基本条例を作る必要がないと思っています。そういうことからしまして、私どもの与えられた任務は大変重要です。現在、機能を十分発揮できているとはいえない部分もございますが、皆さん協力し合って、基本条例の位置付けをしっかりと設定したいと思います。皆さんのご協力をお願いしましてあいさつとします。

センター長あいさつ (三好センター長)

それぞれにお忙しい皆様方に毎月この協議会に出席いただき、貴重なご意見をいただいていますこと厚くお礼申し上げます。今回の会議に際し、会議事項(3)にある「丸子地域公有土地建物の活用について」ご意見をお聞きする諮問を申し上げる予定です。丸子地域に存在する公有土地建物で今回、カネボウ跡地とファーストビルについて、いかに地域のために活用していくかということについて、市として政策的にどうしていこうかということをご提案しながら、丸子地域全体の活性化のために、いかに有効な活用をしていくかという点で皆様方のご意見をいただきたいということです。カネボウ跡地の活用については、合併前の丸子町からの懸案事項です。よろしく申し上げます。

3 会議事項

(1) わがまち魅力アップ応援事業プレゼンテーション選考（事務局）

[追加募集受付の経過]

8月に追加募集したところ市全体で9団体、丸子地域1団体・上田飯沼史学会の応募があったので審査をお願いしたい。申込受付の優先地域が設定されていたが、予算額に達していないところがあることから調整したところ、丸子地域にも予算配当をいただくことになったので、今回、丸子地域の応募を受付した。市全体で見直し調整したので、この春に採択いただいた自治会、団体等についても予算の再配当を考え、事業費不足が生じる自治会、団体へは、当初希望額に変更したい。

[プレゼンテーション選考の流れ・選考基準について説明]

飯沼史学会からの事業報告又今後の活動計画について説明をいただき、それに対し、委員の皆さんからご意見・質疑・建設的なアドバイスをお願いしたい。採点基準は、公益性・妥当性・効果効率性・継続性など公正な観点で、項目ごとに5点、3点、0点で採点いただきたい。(2)カについては、前回も採点から除く。点数は委員一人当たり45点満点で集計し、最高点と最低点を除いた平均点20点以上が採択となる。委員が会員又は会に関係する方は選考を辞退していただく。

[最終選考協議の非公開について]

選考協議については、前回同様非公開とさせていただきたい。

別紙資料： .平成20年度わがまち魅力アップ応援事業(丸子地域)プレゼンテーション選考資料

決定事項等

- ・ 選考協議については非公開とする。(上田市自治センター条例)第10条第5項による)

・ 【特色あるまちづくり応援事業】 1団体のプレゼンテーション

【上田飯沼史学会】

飯沼には230年ほど前の幕府へ年貢納めていた建物が建っている。外壁も崩れていて、補修はしてあるが現状が残っているものは少なく市内でもかなり貴重な史跡で、後世に残していきたい。また、飯沼に残っている古文書が未整理で、横浜開港前後に係わる貴重な資料などもあり、横浜開港資料館の方が整理してくれている。飯沼古文書の貴重さを知り、飯沼史学会の前身である「飯沼古文書保存係」が読み取りして住民に知らせたいと活動を始めた。しかし解読が難しいため、先生と一緒に勉強する意味で月1回ほど学習会を開いている。史跡場所の確定と説明標識などを作りたいと思うが資金の面でも問題がある。地元にいる者の責任として、地元のことを知って若い人にも地元へ愛着をもってもらいたい。飯沼史学会の大きな目標である。

プリンターについて、連絡通知文書ならともかく、貴重な現物資料を教材として使うため、学習会に参加する40～50人に配るとなるとコンビニのコピー機ではとてもできない。現在は個人が所有するプリンターを使っているが、自分が会員でなくなったときに継続できなく

なる可能性もある。会としてプリンターがあればと思い申請した。

質疑・意見

(委員) 会の経緯は。区費から活動費が出ているようだが。この先、会はどうなるのかと懸念がある。

- ・ 区からの活動費はご苦労賃としてもらっている。印刷インクや紙代に使ってきた。事業に対する費用はなかった。発足したのは去年の初め頃。古文書は日記であり解読が困難。大学には昨年も調査してもらい、レポートの報告書を出してもらった。飯沼の古文書が全国的に発表されることは自分たちにとっても喜ばしいこと。地元においても知らなかったことが大学によってわかる。

(委員) 現在資料はどのように保存しているのか。維持管理に費用はかからないのか。

- ・ 飯沼神社付近に保管庫がある

(委員) 旅費、交通費、宿泊費について、4か所に依頼しているが特定に理由があるか。調査委員数にばらつきがあるが理由があるか

- ・ 各大学によって生糸関係、地域民衆生活等それぞれ調査目的が違う。大学で「飯沼に行けば資料がある」と代々教授に紹介している。

(委員) こちらから調査依頼をしたのか。

- ・ 同時。こちらからの依頼だけでなく、資料をいただいたりこちらの資料を解読してもらったり、お互いにとってよいこと。

(委員) 研究をして、その後はどのように活用する予定か。調べたことをぜひ形に残して。丸子の中でも特に飯沼が江戸時代から関係があったのか。

- ・ 地元の子もたちが地元の状態をわかる場としていきたい。解読されていないものを後利用して住民の認識のなかに入れていくように整理したい。清水と鹿島に、吉池が名を連ねていた。

[選考協議]

異議なし。丸子地域協議会ではこれを採択とし、市長宛て意見書を提出してまいりたい。

(2) 公共交通活性化プランについてのアンケート結果について報告 (担当課：地域交通政策課)

報告要旨

[平成20年度上田市公共交通総合連携計画実施事業(丸子地域協議会)]について

計画に基づき秋から実施をしていく内容で、特に丸子地域に関係したことを列記した。

1. 丸子地域循環バス実証運行

ルートを変更し、今までバスが通っていなかった郷仕川原地区を運行するほか、運行コースを東西に分け丸子中心部と目的地までの乗車時間を短くする。又、土曜日の運行も合わせて行うことで利便性の向上を図る。

2. 武石地域デマンド交通

丸子地域の循環バスの見直しの中でもひろえない腰越地区の一部・腰越橋から武石寄りの地域について、武石地域のデマンド交通のフリーエリアを拡大し、腰越地区の

交通手段を確保する。

3. 乗り継ぎ情報提供提示及びバスマップ作成

上田市におけるバス運行経路・時刻表が、非常にわかりづらいということが市民又は観光客から寄せられている。今回、国の補助を得て、主要なバスの発着地点になる駅、上田駅、大屋駅へ、バスの経路やダイヤをあわせ持つ掲示板を設置していきたい。あわせて、各家庭にチラシを作って配布していきたい。

資料の下、四角で囲った5項目については、現在運行されている路線バスの変更点を書いたもの。鹿教湯線、平井寺経由鹿教湯線、長久保線、中仙道線については、基本サービスレベルを確保するというので、ダイヤ変更や利用者の少ない便については一部減便を考えている。なお、丸子線は立科方面と丸子を結ぶ線で、丸子修学館高校の高校生や丸子中心部へ通勤する方から多く意見を寄せられていて、夕方の便を一往復、2便増便していきたい。

路線バスについては、10月1日からダイヤ変更を実施していきたい。循環バス等については、10月の下旬から順次実施してまいりたい。

住民への周知は、10月1日付広報で予告のご案内を、続いて10月16日に広報で詳細をお知らせすると同時に、10月16日付で自治会からチラシを各戸配布する予定。

[地域協議会におけるアンケート結果の集計]

5月23日の地域協議会で内容説明し、皆さんから出していただいたアンケートを、9地域協議会全部まとめたもの。85件の回答。アンケートの質問内容は、「バス路線・ダイヤ」「公共交通利用促進」「その他」の3つの項目の記述回答。

- (1) ソフト施策について 一番意見が多かった「ソフト施策」の中で最も多かった「情報提供」が27%で、どこにどんなバスが走っているのかを理解していただくことが大切だということで今回、路線図・時刻表のチラシを作成し各ご家庭に配布してまいりたい。「ソフト施策」の中で次に多かったのが、「ノーマイカーデー」。上田市でも第2第4金曜日ノーマイカーデーを実施。企業でも広がっている方策を実施してまいりたい。「イベントとの連携」、「割引き切符」等については、鉄道では様々なイベント等を企画、連携を行っているが、バスは事例がない。今後、利用促進に結びつくような企画をしていきたい。「観光」、「環境面」についても非常に重要だと認識しているので、できるだけ多くのことを今後検討してまいりたい。
- (2) ダイヤについて 「通勤通学」、「乗り継ぎ」、「最終便」について意見をいただいている。今回、公共交通活性化プランで、すべてのバス路線について検討し変更したが、今後も、バス事業者等とも協議し、より利便性を高めるための変更を逐次行ってまいりたい。
- (3) ハード施策について 「バスの小型化」、「駐車場整備」等についてご意見をいただいている。小型化について検討したが、バス運行にかかる経費、費用の多くは、バスの大きい小さいではなく、人件費が一番大きい。ガソリン代が値上がりしており、バス小型化も非常に重要だと認識しているが、新しい車の購入には初期費用がかかるの

で、今後、事業者とも協議して、出来るところから実施してまいりたい。駐車場についても土地の購入等初期費用がかかるものがあるので、活用可能な土地があれば、今後実施してまいりたい。

(4) ルートについて ルートも一部見直しをしましたが、今後も、意見をいただく中で、バス事業所と協議し、可能なものについては、今後検討して実施してまいりたい。

(5) 意識改革 (6) 運賃 (7) 活性化プラン (8) 不便さについて、それぞれ重要なことだと認識している。特に意識改革については、「乗って残す」という意識改革が非常に大切で、今回、長野県では、来月の 17 日に、松本で利用促進のための県民大会の開催を計画されている。運賃では、現在上田地域で、高齢者の足の確保ということで運行しているオレンジバスの有料化のご意見につきましては、今後の検討課題としたい。不便さについて、「利用者がいない・少ない、そうすると便数を減らす、そうすると運賃を上げる、結果、利用者が減る」ということで悪循環になる。これを繰り返していくうちには、公共交通はなくなるということもある。行政負担は限度があるので、今後どうして行けばよいのか地域協議会の皆様のご意見をいただきながら検討してまいりたい。バス路線によっては、運行を維持することが困難な路線がいくつかある。一度なくなったものを、復活させることは大変。地域を走るバス、ぜひ地域の皆さんで「乗って残す」という意識を持っていただきたい。今後も、ご利用の皆様からその都度ご意見をいただければと考えている。

資料 別紙資料 平成 20 年度上田市公共交通総合連携計画実施事業(丸子地域協議会)
地域協議会におけるアンケート結果の集計

主な質疑

なし。

(2)丸子地域公有土地建物の活用について諮問 (担当課：地域振興課)

・三好センター長から片桐会長へ、市長からの諮問書を伝達。

[諮問]

上田市地域自治センター条例第 7 条第 1 項の規定に基づき、上田市長から丸子地域協議会への諮問。

[諮問要旨]

件名 丸子地域公有土地建物の活用について

諮問資料 別紙のとおり。

答申期限 平成 20 年 11 月末日

担当部課 丸子地域自治センター地域振興課

・諮問内容

1. カネボウ跡地について、次の①から③について意見を求めます。

① 現在定期借地権により賃貸している約 1 万 6 千平方メートルの売却について。

② 新たな約 1 万平方メートルを商業用テナント用地として定期借地権により賃貸することについて。

③ 旧食堂棟等既存施設の活用について。

カネボウ全体をどういうふうを考えていくかという地域協議会の意見がございましたら、そういうものもお出しただいて諮問に対する答申として付加していただいてもよいかと思えます。

2. ファーストビルについて、以下の整備方針について意見を求めます。

① 一階は往来性が高いことから、集客性のある商業的テナントスペースを主体に、ユニバーサルなトイレや開放的な交流空間を設ける。

② 二階は商工会の事務所を移転し、まちづくりの活動拠点として事務室や、会議室を設ける。また、情報館の IT 施設を活かして研修施設を整備するなど TMO 構想の本拠地として整備する。

③ 三階は、現状として子育て活動をしているグループの利用が多いことや、二階の情報館の小中学生の利用状況を踏まえ、子育て活動や子ども達の利用にも配慮した施設整備をはかる。

④ ビル全体のバリアフリーを図るため、エレベーターの設置やトイレ、洗面所の改修を行う。

(会長) 11 月末が答申期限なので、来月は集中討議したい。

資料 1 旧カネボウ丸子工場跡地の現状と課題

資料 2 ファーストビルの現状と課題

カネボウ跡地及びファーストビル位置図

質疑なし。

4 調査研究事項

(1) 第 5 回専門部会・グループ討議内容の報告・提案

[依田川リバーフロント市民協働事業専門部会]

(委員) まず今、協議会としてやることは、あの土地を更地化することで、それにはどのくらい費用がかかるのか、環境的にどうなのかまで含めたものを検討していただきたいということで、行政に申入れをしている。

・依田川リバーフロント市民協働事業・専門部会で出された行政としての取り組み

総合グラウンド北側用地について行政が抱えている課題として、担当課長、係長が集まり情報交換し資料としてまとめた。各課にまたがっている課題。大変高いハードルの部署中にはあるが、地域協議会でご検討いただきながら、対応していきたい。

資料：依田川・内村川合流点付近の現状と課題

[グループ討議]

・第1・2合同グループ

(委員) わがまち魅力アップ応援事業で採択された事業について住民に周知し、大いに活用を図る。予算が事前に支給されるかお聞きしたい。人々が楽しく共生できる地域づくりについて、子ども達お年寄りが自然に交流できるような拠点づくりが必要。丸子ドドンコ町民祭は多額な費用がかかり、補助金等もいただいているが、自治会によっては不足するので、基金から支出してはどうか。増額ができないか。という話しが出た。

・第3・4合同グループ

(委員) 地域協議会が継続していかれるような強い意見を言えるように出来るかという話しがあった。リバーフロントありきという話しもあった。

主な質疑・意見

【提案した内容の全体会への取上げについて】

(委員) 確認しお聞きしたい点について、前々回グループ討議の中で2点ほど提案した内容 ①今のグループ討議は暫定的で分科会的なものに出来ないか。②自治会や議会等他団体との連携についてどう考えるか。について全体会でいつ取上げていただけるのか。

(会長) 全体会で討議する内容は、皆さんから出ればすぐやる。グループ討議が終わった時点で全体会で協議したい。

(委員) グループ討議に終わりがあるか。

(会長) グループ討議で大体出尽くしたと判断すれば全体会に移りたい。

(委員) 正式な分科会的なものをきちっと組み立てて欲しいという意見で、どういう分科会を作るかという討議を早めに始めていただきたい。それと、他団体との連携についてもなるべく早くにお願いしたい。

【ドドンコへの補助について】

(委員) ドドンコの補助の件で補足。地域のイベントというのは、途中でやめたら再開は難しい。ぜひ続けて欲しい願いからあえて申し上げる。一つの事例として、上丸子の三反田から八日町までの4区が神輿を1基出しているが、来年からは、お金がないから止めようという話しが出ている。ぜひそういう声が上がらないように、地域予算、持ち寄り基金を使ってでも、なんとしてでもイベントが継続できるような方策を地域協議会でも取上げて欲しい。

(会長) この意見もグループ討議で出た問題ですから、全体会議で取上げて皆さんで検討してまいりたい。

【依田川リバーフロント市民協働事業について】

(委員) 依田川リバーフロント事業専門部会の件で、1点強調したい。この事業は、土地の有効活用を目的とした事業ではないと私は理解している。地域協議会の目的でもある住民自治、住民の活性化を図ることを目的に、住民の関心の一番高い環境問題を、地域まちづくり方針7項目の中から選び、川に焦点をあてることによって、広がりを持つ

て進めたいということで議論をした記憶がある。住民のつながりや住民の意識をどう育てるか、そのために関心のありそうな環境から入っていこうという議論があった。そのために、公園なりを作るにあたり、草刈もそうだが計画段階から住民のボランティアグループを育てていくことが、とても重要な課題であると思う。地元の委員や、多くの方に声掛けを積極的にしていただくことがとても大切。できればもう少し、地元の委員の方に専門部会に入っていたきたい。

【わがまち魅力アップ応援事業概算払いについて】

(委員) 予算はいつごろもらえるのか。自分たちで負担している。

- ・ 団体へは8割は概算払いできるとなっている。最初の申込みの説明に概算払いについて記載されている。すでに2件の請求をいただいている。

4. 専門部会・グループ討議 (第3会議室及び第4会議室)

- ・ 専門部会・グループ討議の開催について

・ 依田川リバーフロント市民協働事業専門部会及びグループ討議の会場について説明。
専門部会は第2会議室、第1・第2グループ合同は第3会議室、第3・第4グループ合同は第4会議室で開催をお願いしたい。

主な質疑

(委員) 専門部会は特殊性があるので、大変だが、違う日にやる方法でどうか。今日はとりあえず協議する内容はそんなにない、ときにこれ以上詰めることもないように思う。

(会長) 欠席の方もいるし、指摘されよう、専門部会に抜けると人数が減ってしまう。ご理解をいただければ、そうしたいと思うがよろしいか。

(委員) 専門部会により人数が減り、なおかつ欠席される方がいるともものすごく少なくなり、合同でグループ討議をするのも大変なので、専門部会は別な日にやってもらえないか。

(事務局) 先ほど、行政側の考え方をまとめて説明したが、明日どうしろこうしろという状況ではない。今後、来年度に向けた予算編成の作業で、地域予算をどう使っていくか、依田川リバーフロント市民協働事業にどんなお金が必要になるかは事務局にご一任いただくという前提で、専門部会は休止にさせていただけたらと思う。

決定事項

- ・ 専門部会について今回は休会。

5. その他

- ・ 次回の地域協議会の日程について(事務局)

・ 次回の地域協議会の日程 10月24日(金曜日)午後1時30分から 場所は通知時に連絡。

- ・ わがまち魅力アップ応援事業についてお知らせ

10月に団体の活動の状況を見に行く見学会を計画したい。詳細については後日通知。

「丸子地域を活性化する会」が国道 254 号に案山子を展示。鹿教湯方面を計画。11 月 24 日には、「お産を考える会はぐ HUG」が「パパママフェスタ」イベントを計画中。今後も活動を広く皆さんに情報提供していきたいので、団体が実施するイベント等の日程をご存知の方は、事務局までお知らせいただきたい。

6. 閉会